

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	加藤 雅人	
作業名称	路面標示工(加熱ペイント式)	作業手順書	作成年月日	令和3年4月12日	
使用機械 使用設備	機材車、2トラック(材料車)、マーカー車		改正年月日	令和3年6月24日	
使用工具、機器	デッキブラシ、スコップ、ほうき		現場責任者		
			協力会社	会社名	
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、自発光チョッキ、防護メガネ、マスク、手袋、視認性の良い作業着		協力会社責任者	自筆サイン	
			作業順序		
材料	塗料(ペイント)・養生テープ		1	現地調査・確認	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(中型)		2	準備作業	
			3	墨出し	
作業人員	職長 1人、作業責任者 1人、運転手 1人、作業員1人、保安員 2人		4	路面清掃	
	合計 6名		5	塗料塗装	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	2021年 月 日	6	養生
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)			7	(清掃)
				8	後片付け・離脱前確認

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
性	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△△	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する対策の指示 1=関係者に対する周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
事前確認(全員)	事前調査に伴う作図資料を再確認すること								
準備作業(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認							
	ミーティング	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
ケーブル等周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認	図面がないケーブルが確認された場合、作業を中断し、担当者へ報告すること。							
墨出し	施工箇所のマーキング	作業箇所・作業方法・作業種類を再度確認する	マーキング中、作業車にひかれる 路肩に置いた養生テープやスプレー缶、台車などが転がり、転倒の原因となる。	○	×	○×	3		正対方向で作業を行うこと。また、退避場所の確認やハンドル切・輪留め・サイドブレーキを確実に行う。
路面清掃	作業路面上の泥・水・ほこり等をデッキブラシ・ほうきで十分取り除き、塗料が作業箇所均一に塗布するようにする		清掃中、ガラが飛散し、一般車へ当たる	×	○	×○	3		清掃中、飛散が考えられる際は、飛散防止ネットを設置する。または、一般車が来ないタイミングで掃く。
	がらの取り残しがないか複数の目で確認する		スコップ等の道具が他の作業員へ当たり、怪我をする	△	○	△○	2		安全靴・脚絆・視認性の良い服装を着用させる
塗料塗装	材料の循環・攪拌を行い温度管理に注意する		作業員と作業車が接触し、怪我をする	○	△	○△	2		作業中、作業車との間隔を5m以上保つ。また、車両をバックで移動させる際は必ず誘導員を設け指示に従う。
	ペイントの塗布面にガラスビーズをムらが生じないよう散布する		材料(ペイント)が飛散し、目や口に入る	△	△	△△	3		作業中は防護メガネ・マスクの着用を徹底する
	夜間作業の場合は、作業場所を照らす照明器具(ハルンライト)を確保し安全に作業を行う		重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3		重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
	走行しながらの作業では、後尾警戒として、標識車を後ろに配置し、作業を行う。また、黄バトを先行させ、クリア確認する。		走行(塗装)中、後方から一般車がぶつかる	△	×	△×	4		後方に標識車又は黄バトを配置し、注意喚起を行う。
養生・開放確認	15分ほど養生し(時期にもよる)開放確認する	しっかり養生を行い、不純物が付着しないようにする							
(清掃)	必要に応じて現場付近の清掃を行う	ほうき、プロアー、ハンドスウィーパーで清掃する							
後片付け(全員)	離脱前に全員で忘れ物がないか確認する								
離脱時	後片付け・離脱前確認	現場離脱前に塗料の漏れや荷台の上の確認を行う	塗料がこぼれ、路面が汚れる	△	△	△△	3		離脱前にコックやボルトの閉まりを2名以上で行う。また、責任者がマーカー車の後につく。
									工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事